

広島県自立支援型ケアマネジメント個別研修・アセスメント力向上研修を開催しました

日時：平成 31 年 2 月 5 日（火） 10：00～16：15

場所：広島県健康福祉センター

参加者：157 名（地域包括支援センター職員・介護支援専門員 140 名，市町職員 14 名，
：県及び厚生環境事務所職員 3 名）

この度の研修は，自立支援型地域ケア個別会議の必要性と役割について学ぶとともに，軽度者に多い糖尿病についてのアセスメント力を向上させるため，医学的知識及び病状悪化を防ぎ生活支援を行う上で必要な知識を学ぶことを目的に開催されました。

個別研修では，厚生労働省の介護予防活動普及展開事業で行われている模擬地域ケア個別会議を開催し，受講者自身が助言者役を担いながら地域ケア個別会議の実際について，ワークを通して学びました。

アセスメント力向上研修では，糖尿病看護認定看護師と管理栄養士から「介護予防の視点で糖尿病疾患を抱える人を支えるために必要なアセスメントの視点」と「軽度者の糖尿病疾患を抱える人の在宅での栄養管理と食行動」について講義を受けました。

また個別研修では，受講者から「地域ケア個別会議の助言者役を初めてやり、助言者の視点を学べた。」，アセスメント力向上研修では，「糖尿病について知っているつもりだったが，思い違いに気づいた。」「目の前の利用者さんに対して，明日からでも使えるアセスメントの視点を教えてもらいよかった。」「カロリーの計算等，食事内容の確認に活かせる内容で楽しかった。」，また，すべての研修を受けて，「改めて多職種連携の重要性を痛感した。」等の声がありました。

この研修は，来年度も引き続き開催予定です。医学的管理については取り上げる疾患を変更しつつ，自立支援型ケアマネジメントに活かせる内容にしていく予定です。



